

# 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会

隅田川等における新たな水辺整備のあり方（次の展開にむけて）

2022.8.26版 東京都建設局河川部

## 「未来の隅田川」に向けて

隅田川等の水辺空間では、下流域を中心に水辺と街の連続性・回遊性を高め、水辺のにぎわいを生む取組が進んできました。

これまでの取組やポストコロナを見据えた社会情勢の変化等を踏まえ、水辺のオープンスペースが持つ『ゆとりや潤い』を生かした今後の水辺整備のあり方について検討します。

「未来の東京」戦略掲載案件 戦略13水と緑溢れる東京戦略  
【ゆとりと潤いにあふれる水辺空間の整備】

# 『未来の東京に向けた水辺整備のあり方』検討会 概要



## 目的

隅田川下流域を中心として展開している「水辺の魅力を活かした東京の顔づくり事業」について、社会情勢の変化を踏まえ、水辺の『ゆとりと潤い』を生かした今後の水辺整備のあり方について検討する。

## 検討項目

- ゆとりや潤いを生かした水辺空間の基本的な考え方に関する事項 (コンセプト等)
- 隅田川等における今後の水辺整備に関する事項 (動線強化の展開等)
- 官民連携に関する事項 (新たな官民連携プロジェクト候補等)
- 恒常的な利活用への仕組みづくりに関する事項 (河川敷地占用許可準則の活用促進等)

## 検討体制

専門家会議として設置し、外部の専門的知識を踏まえて、今後のあり方について検討する

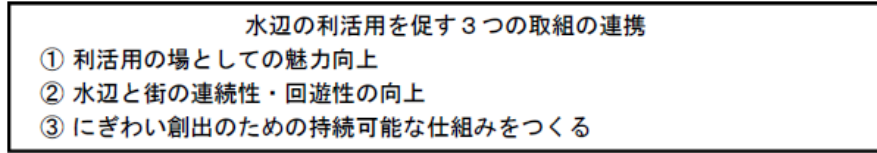
- 学識委員 (河川、都市計画、地域分析、エリアマネジメント)
- 行政委員 (沿川7区、関連行政部署)

## スケジュール

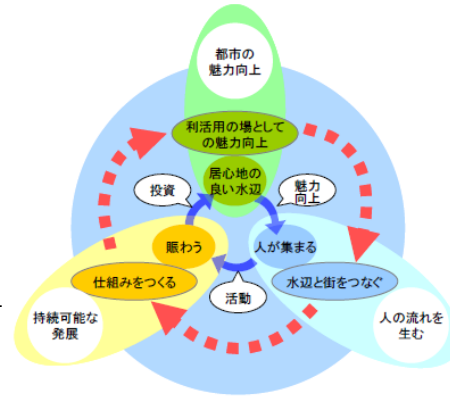
- 第1回 : これまでの評価、基本的な考え方 など
- 第2回 : 重点エリアの考え方、整備メニュー など
- 第3回 : 恒常的な利活用に向けての仕組みづくり など
- 第4回 : 今後の展開、とりまとめ など

# これまでの取組と成果（隅田川等における新たな水辺整備のあり方）

- H26.2「隅田川等における新たな水辺整備のあり方」最終報告に基づき、隅田川下流域を中心とした水辺の利活用を促進  
基本的な考え方



⇒ 「にぎわい誘導エリア」による重点的な施策展開  
「水辺の動線」の強化、持続可能な仕組みづくりの検討



- 両国リバーセンターや北十間川プロムナード等の事業化した拠点整備が完了
- テラス照明については、8.7 km（約9割）の整備が完了（R3年度末）
- 隅田川等での特例占用件数は、1件（H25）から10件（R3）に増加
- R4年の隅田川サポーター登録団体は、33団体となり年々増加

隅田川テラス



テラス連続橋



スーパー堤防



テラス照明



両国リバーセンター



かわてらす



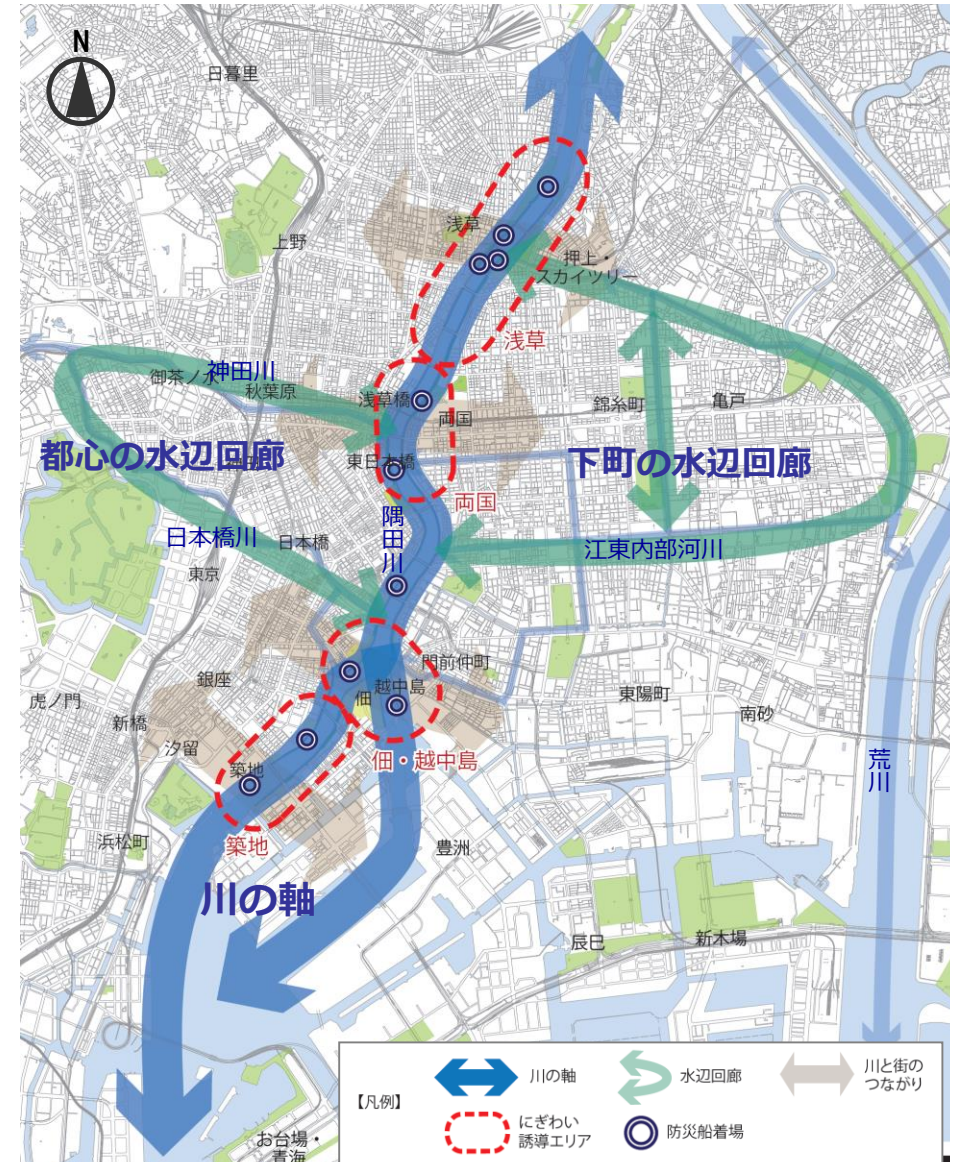
北十間川プロムナード



隅田川サポーター



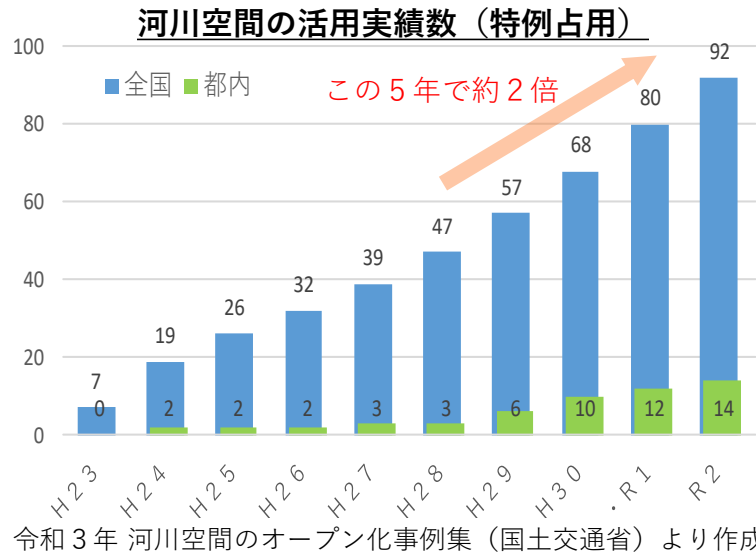
< 施策展開の全体（「あり方」最終報告より） >



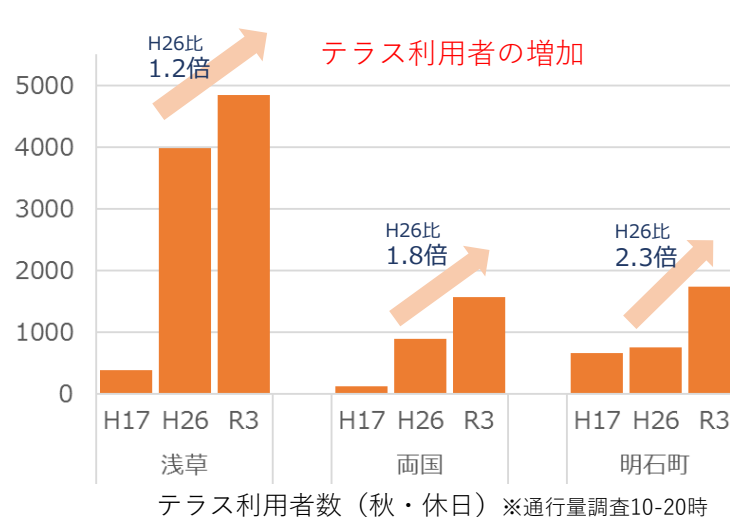


# 隅田川等の水辺空間を取り巻く社会情勢

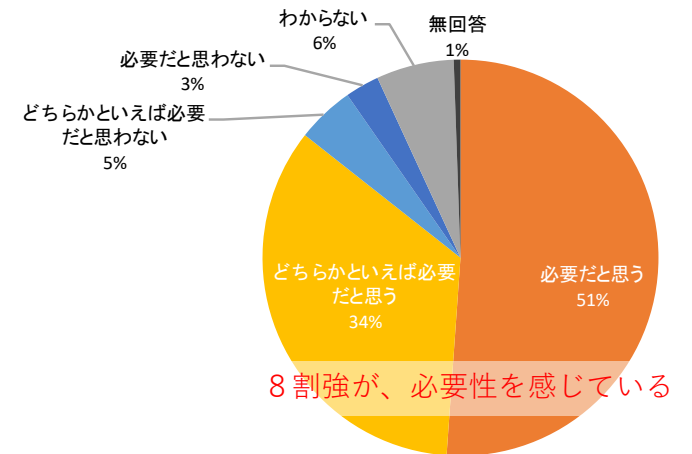
## 水辺のオープン空間へのニーズの変化



### 隅田川テラス利用者実績数



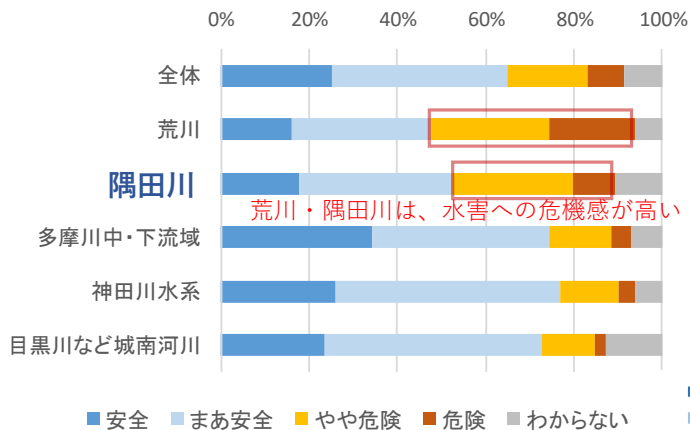
### 河川空間の「ゆとりや居心地の良さ」必要性



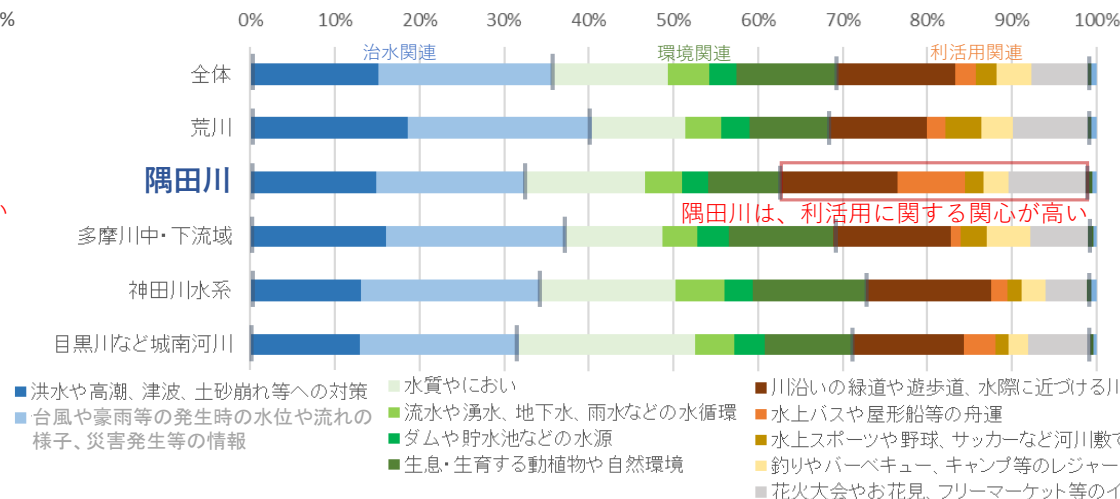
「河川に関する世論調査」東京都（令和3年11月調査）

## 水害への危機感／水辺の利活用への関心／水辺の利活用と防災意識

### 身近に感じる河川が水害に対して安全と感じるか？

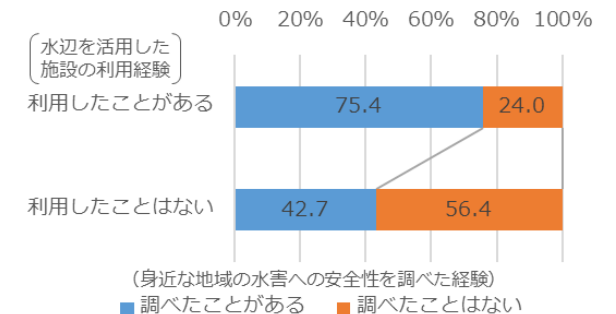


### 身近に感じる河川への関心



「河川に関する世論調査」東京都（令和3年11月調査）

### 水辺を活用した施設の利用経験と 身近な地域の水害への安全性を調べた経験



水辺を活用した施設の利用者は、水害への安全性を調べた経験が多い

# 隅田川を中心とした水辺空間における今後の「あり方」の方向性（案）

隅田川等における新たな水辺整備のあり方（H26.2）

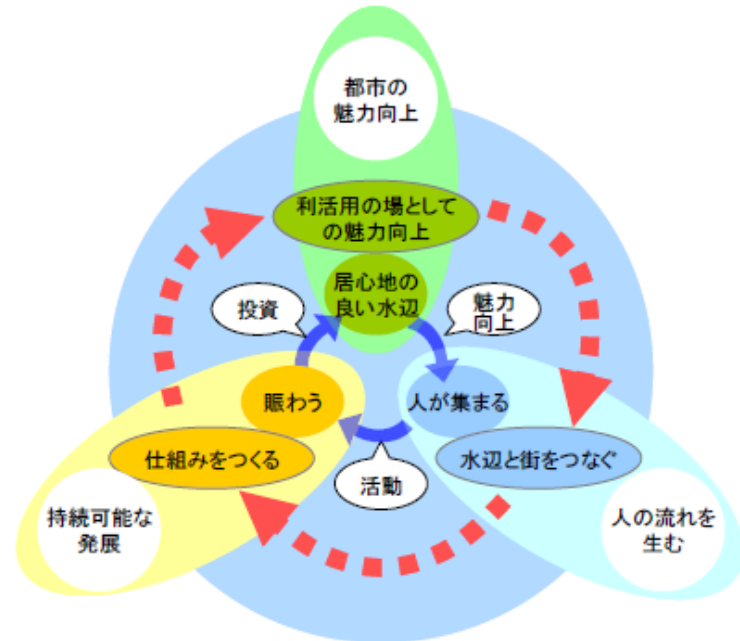
## 【基本コンセプト】

「人々が集い、にぎわいが生まれる水辺空間の創出」  
～水辺における人々の恒常的な利活用～

## 【基本的な考え方】

水辺の利活用を促す3つの取組の連携

- ①利活用の場としての魅力向上
- ②水辺と街の連続性・回遊性の向上
- ③にぎわい創出のための持続可能な仕組みをつくる



今後の「あり方」の方向性

## 1. 東京都が掲げるビジョンと戦略である「未来の東京戦略」の実現に向けて、隅田川を中心とした水辺空間のあり方を設定

【ゆとりと潤いにあふれる水辺空間の整備】  
これまでの取組や社会情勢の変化等を踏まえた事業展開

## 2. 東京の水辺空間が持つオープンスペースの価値を再確認し東京の顔となるような水辺空間を創り出していく

→都市の魅力向上：水の都「東京」としての都市プレゼンス  
→密を回避する水辺：都市空間の感染症リスクへの対応強化  
→テレワーク等の生活様式への対応：水辺のゆとりと潤いを生かし、東京の都市空間の豊かさを生み出す

## 3. 今後の「あり方」の基本的な考え方

- ✓ 水辺の利活用を促す「3つの取組の連携」は不変的
  - ①利活用の場としての魅力向上（質を高める）
  - ②水辺と街をつなぐ（動線をつくる）
  - ③仕組みをつくる（持続可能な活動を生み出す）→これまでの成果を踏まえ、次の展開へと繋げていく
- ✓ 隅田川上下流へ水辺の拠点を展開し、「つなぎ、広げる」（拠点→線→面）  
→『川の軸』を上流へ伸ばし、水辺の利活用を推進

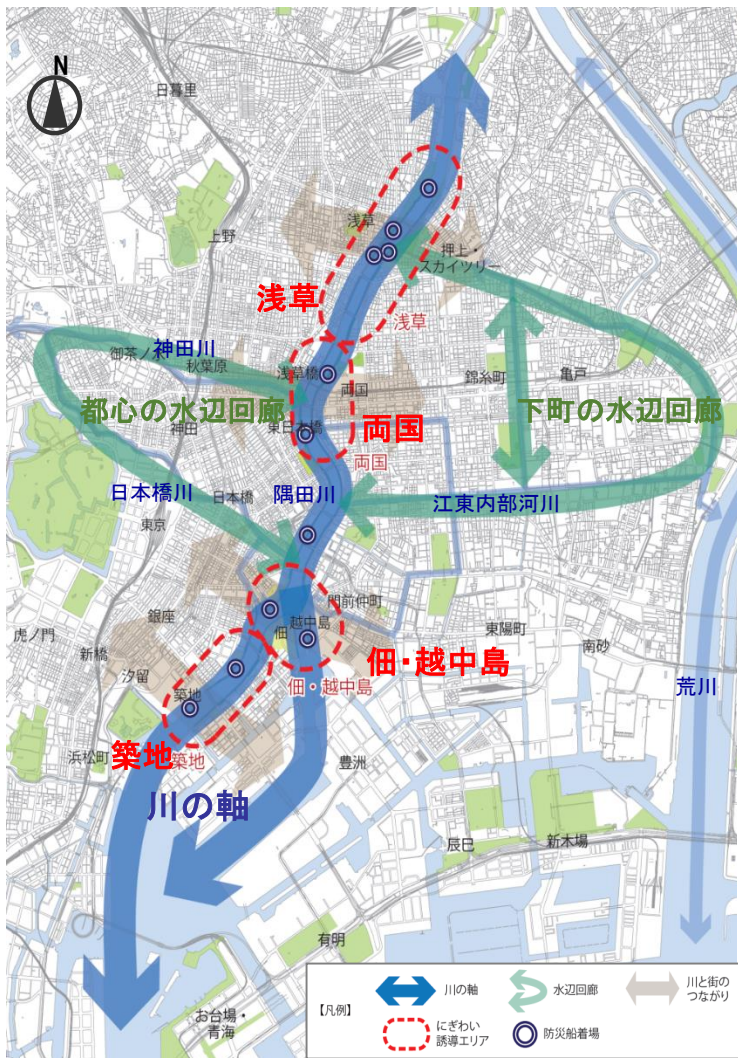
# 隅田川を中心とした水辺空間における今後の「あり方」の方向性（案）

## 隅田川等における新たな水辺整備のあり方（H26.2）

## 今後の「あり方」の方向性

### 水辺の魅力を活かした東京の顔づくり ～隅田川を中心とした『川の軸』と2つの『水辺回廊』～

### 『水辺のゆとりと潤いを生かした東京の顔づくり』 ～水辺の魅力を生かす『川の軸』の展開～



#### 隅田川を中心とした『川の軸』

##### 「にぎわい誘導エリア」の設定

『浅草』『両国』『佃・越中島』『築地』における重点的な施策展開

##### 【重点整備】

スーパー堤防、修景、船着場、カフェ等に必要な設備等

##### 【事業連携】

ライトアップ、都市開発、PFI等

##### 【規制緩和・準則適用】

準則の区域指定、利用に関する規制緩和、施設の一般開放等

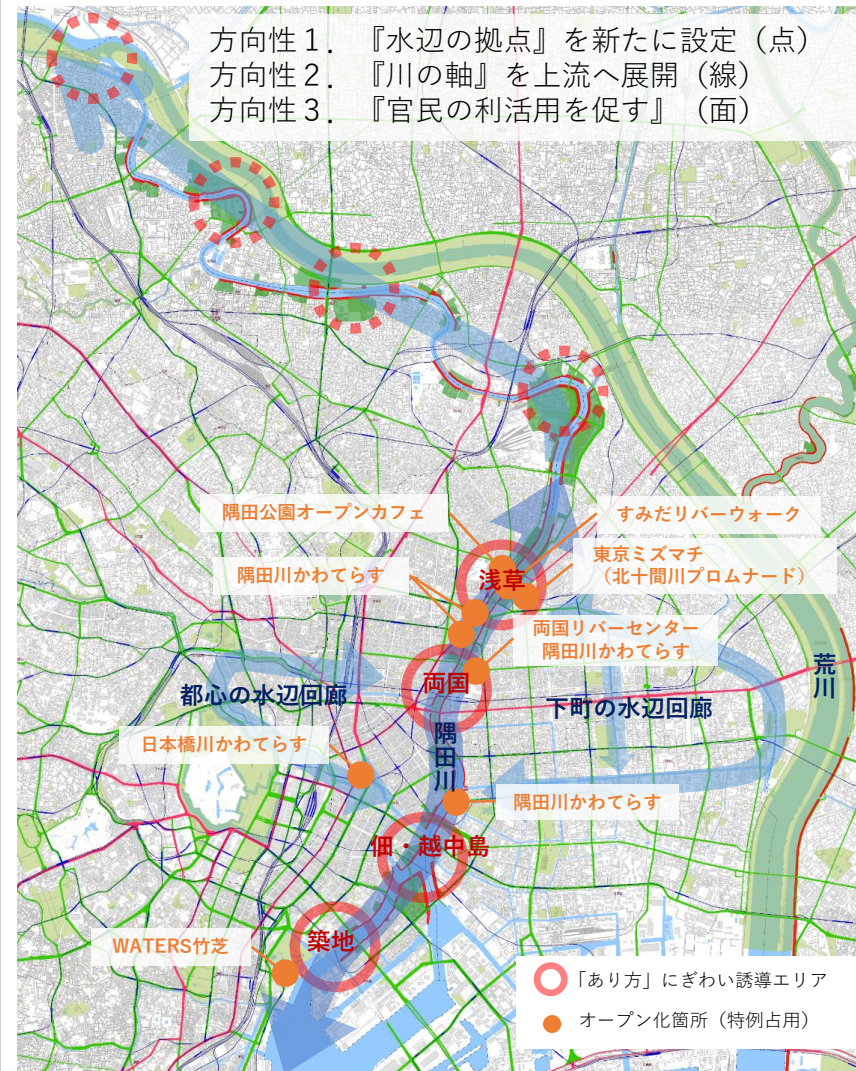
#### 「水辺の動線」の強化

川沿いの動線の連続化向上  
：支川合流部等を連絡橋等でつなぎ、接続性・回遊性を向上

河川照明  
：夜間の明るさを確保し、テラスへの誘導性や夜間景観を向上

#### 周辺エリアにおける「水辺回廊」

都心の水辺回廊  
：沿川開発と連携した川床やオープンカフェ、水辺を活かした再開発等  
下町の水辺回廊  
：閘門等を含めた観光舟運、公園等と連携した水辺の散策路等



- 方向性1. 『水辺の拠点』を新たに設定（点）
- 方向性2. 『川の軸』を上流へ展開（線）
- 方向性3. 『官民の利活用を促す』（面）

#### 【上流域】

東京の新たな都市の魅力を生み出す水と緑を生かした水辺空間

#### 【下流域】

江戸東京文化を引き継ぐ人々のにぎわいあふれる水辺空間

【拠点をつなぐ】  
荒川・隅田川を活用した水路と陸路のネットワーク

# 隅田川を中心とした水辺空間における今後の「あり方」の方向性（案）

## 隅田川等における新たな水辺整備のあり方（H26.2）

### 【拠点での取組イメージの提案】

拠点将来像を幅広い視点から提案したものであり、今後、実現にあたっては、**国等関係機関や沿川自治体、住民、企業等と調整を図っていくことが必要である**

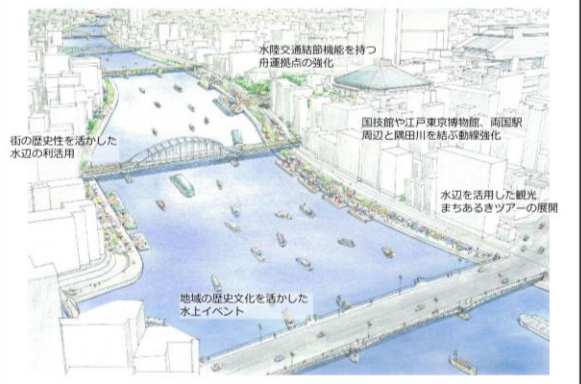
#### 浅草エリア

浅草・東京スカイツリーを結ぶ にぎわいの水辺  
 ▶浅草寺・東京スカイツリー間をつなぐ動線の形成・回遊性の向上  
 ▶浅草界隈のにぎわいの水辺への拡大  
 ▶舟運や水辺利用の活性化・多様化



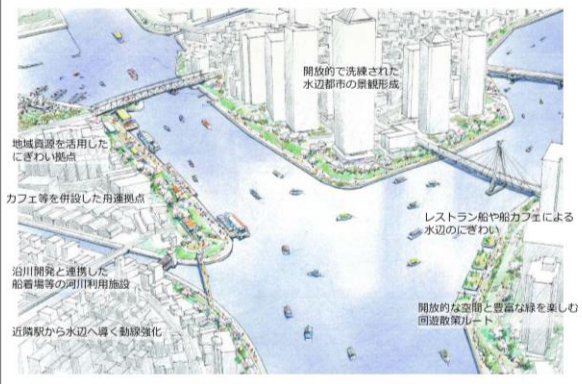
#### 両国エリア

歴史・文化が息づく「水の都」東京の顔  
 ▶駅周辺から水辺、さらに隅田川両岸をつなぐ動線の形成  
 ▶沿川のにぎわい創出の強化  
 ▶水陸交通結節機能を持つ舟運拠点の形成



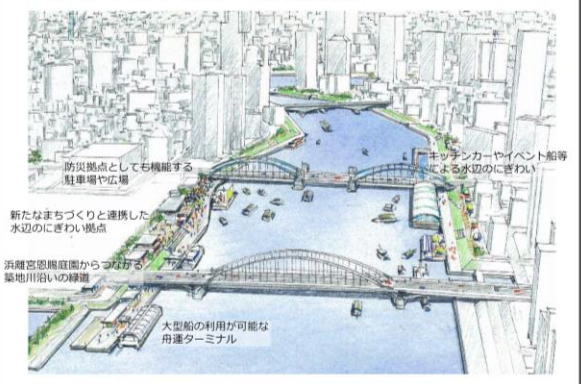
#### 佃・越中島エリア

開放的な河川景観が広がる 洗練された水辺都市  
 ▶沿川開発と連携し、公園や船着場を活かしたにぎわい拠点の形成  
 ▶駅から水辺への動線形成と水辺の回遊性向上  
 ▶ベイエリアと接続する舟運拠点の形成



#### 築地エリア

海・川・街を接続する 隅田川の玄関口  
 ▶新たなまちづくりと連携する水辺のにぎわい拠点の形成  
 ▶浜離宮恩賜庭園と連携した水辺の回遊動線の形成  
 ▶海・川・街をつなぐ舟運ターミナル機能の創出



## 今後の「あり方」の方向性

- ✓ 今後の将来像に向けて幅広く検討する
- ✓ 専門家の知見を踏まえた「あり方」として、取りまとめる
- ✓ 「あり方」を示すことで、関係機関（国、都、区）や民間企業等のそれぞれの取組へと繋げていく

→検討会にて新たな拠点を含めた上下流の取組イメージを検討



（取組例）安全で心地よい水辺空間の創出



（取組例）まちづくりと連携した河川整備



（取組例）スーパー堤防や公園等と連携した利活用



（取組例）荒川や隅田川等を結ぶ舟運ネットワーク